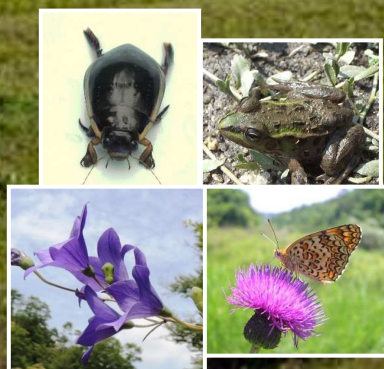


農業と農村の未来を拓く“田の虫サイコウ！”プロジェクト せら高原の“ゆめ農業講座”

ひろしまさとやま未来博“ココロザシ応援プロジェクト”採択事業

世羅町では世羅台地の豊かな自然を基盤として様々な農業が営まれています。しかし、農法や生活様式の変化により多くの生き物が住み家を追われています。“ゆめ農業講座”を主催する「せら夢公園サポーターズクラブ」は、せら夢公園自然観察園を拠点として、秋の七草やヒヨウウモンモドキなど、失われつつある世羅台地の多様で豊かな自然の守り手を目指して活動しています。

この“ゆめ農業講座”は、農業や農村の暮らしが育んできた生物多様性を「田の虫・田の草」と呼び、里山の恵みである「田の虫・田の草」を再考し、再興・再生するための技術と活用策を学び実践することを通じて、農業と農村の未来を拓くことを目指しています。



【写真】赤とんぼを描いた“こだわりの草刈”（世羅町田打地区）

【田の虫サイコウ！プロジェクトとは】

今では絶滅危惧種になってしまったゲンゴロウやキキョウなど、農業や里山の暮らしが育んできた里山の恵みである“田の虫”や“田の草”の再興・再生を目指し、生き物も育てる農業を学ぶ“ゆめ農業講座”や生き物がにぎわう里山を体験する“アグロエコツアー”の開催、生き物といっしょに育てる農産物のブランディングに取り組みます。

- 主催：せら夢公園サポーターズクラブ
- 協力：(株)セラアグリパーク
世羅・御調の自然史研究会
- 後援：関係機関へ申請中
- 期日：平成29年6月10日（土）～10月28日（土）
（全5回）
- 場所：せら夢公園（せらワイナリー）
〒722-1732 広島県世羅郡 世羅町黒淵518-1
世羅町内の農園など
- 内容：裏面に記載
- 参加対象：農業者、学生、関係者等（定員30名）
（どなたでも参加できます）

- 受講料：一般5,000円、学生3,000円（せら夢公園サポーターズクラブ会員一般4,000円、学生2,000円）
※第2回7月8日（土）の交流会「田の虫ナイト」の参加費（せらワイナリーレストランでの食事代4,000円程度）、朝食付宿泊代（せら香遊ランド3,700円程度）は受講料に含みません。
- お申込・お問合せ先
せら夢公園サポーターズクラブ事務局（担当 延安）
〒722-1732 広島県世羅郡世羅町黒淵411-13
せら夢公園管理センター内
TEL：0847-25-4400 fax0847-25-4306
Email yume@mail.mcat.ne.jp
申込締切 平成29年6月7日（水）

受講申込書

申込 F A X 0847-25-4306

氏名	住所	TEL・メール	田の虫ナイト （交流会） 申込	宿泊 申込
			有・無	有・無
			有・無	有・無
			有・無	有・無



2017年度ゆめ農業講座(第2期)カリキュラム

第1回 6月10日(土) 場所: せら夢公園自然観察園、世羅町黒淵(世羅町黒淵)	
第1講座「現場に学ぶ“田の虫サイコウ!”の夢と課題」 9:00~12:00 (講義と現地見学) ①せら夢公園自然観察園の取り組み(現地研修) 9:00~10:00 講師: 中島秀也さん(せら夢公園サポーターズクラブ) 延安 勇さん(株アグリパーク) 内容: ヒョウモンモドキの保護や秋の七草などの田の虫・田の草の再興を目指すせら夢公園自然観察園の取り組みを見学します。 ②田の虫・田の草の保全活動について(現地研修) 10:30~11:30 講師: 黒淵の農地と水を守る会事務局 内容: 集落で取り組まれている里山の動植物の保全と再生の現場を見学します。	
第2回 7月8日(土)・9日(日) 場所: せらワイナリー足湯館・せら夢公園自然観察園(世羅町黒淵) ビオターニ(世羅町小谷)	
8日(土)	第2講座「公的支援を活かして“田の虫サイコウ!”」 (講義) 13:00~13:40 講師: 農林水産省 内容: 直接支払い交付金を活かした有機農業や生物多様性農業・環境保全型農業の取り組みについて学びます。 第3講座「あの手この手で“田の虫サイコウ!”」 (講義) 13:50~14:30 講師: 星野 滋さん(広島県農業技術センター) 内容: 田の虫を活かす病害虫管理や、中干をしない稲作など田の虫を増やす肥培管理について学びます。 第4講座「“田の虫サイコウ!”生物多様性って何?」 (ワークショップ) 14:45~17:00 講師: 日鷹一雅さん(愛媛大学大学院農学研究科) 内容: 人の暮らしや農業を支える生物多様性(田の虫・田の草)とは何なのか?みんなで考えます。
★田の虫ナイト(交流会) 場所: せらワイナリーレストラン 17:00~19:00 (受講料とは別料金となります) 話題提供者: 田の虫サイコウ!プロジェクトメンバー+ゲスト+参加者のみなさん 内容: ふるさとの“たからもの”であるはずの豊かな自然(田の虫・田の草)。気がつけば多くの田の虫・田の草たちが私たちが暮らす身近な場所から次々と姿を消しています。里山の恵みでもある地元の食材を使った料理を肴に、せらワインを飲みながら、ふるさとの自然を再考し、再興に向け、誰が、どう再生していくのか、みんなの“ゆめ農業”を語り合しましょう。	
9日(日)	第5講座「生き物ブランドで“田の虫サイコウ!”」 9:00~12:00 場所: ビオターニ、小谷集会所(世羅町小谷) ①カエルといっしょに米作り(現地研修) 講師: 井藤文男さん(農事組合法人たさか、ヒョウモンモドキ保護の会) 内藤順一さん(NPO法人西中国山地自然史研究会) 内容: 専門家をして不可能と言わしめたナゴヤダルマガエルの生息地外保全を成功に導いた現場の取り組みを学びます。 ②「生き物ブランドで“田の虫サイコウ!”」: ダルマガエル米を食べながら、生き物ブランドのブランディングを考えましょう
【オプション公開講座】7月22日(土)「田の虫・田の草とすぞす夏休み」 9:30~11:30 ビオターニ、小谷集会所(世羅町小谷) 内容: ダルマガエルの住む田んぼで、子どもも参加できる田の虫、田の草調べを行います。夏休みの宿題のヒントも満載です。 対象者: ゆめ農業講座受講者以外の方でも参加できます。 参加費: 無料 服装・準備物: 田んぼに入るので汚れてもいい服装。帽子、網、虫かごなど 定員: 50名(事前の申込が必要です。締め切り7月20日水曜日)	
第3回 8月4日(金) 場所: 寺岡有機農場(世羅町賀茂)、せらワイナリー足湯館	
第6講座「有機農業の現場に学ぶ」 (現地研修) 9:00~10:00 講師: 寺岡有機農場株式会社 内容: 平成2年から世羅町で有機農業に取り組み大手量販店などに有機JAS認証の野菜を供給する(有)寺岡有機農場を見学します。 第7講座「“田の虫サイコウ!”を活かす有機農業」 (講義) 10:30~12:00 講師: 那波邦彦さん(有機JAS認定検査員、6次産業化プランナー、元広島県農業技術センター) 内容: 中四国における様々な形態の有機農業の事例と有機農業の展望について学びます。	
第4回 10月14日(土) 場所: ビオトーチ(世羅町田打)	
第8講座「外来種駆除で“田の虫サイコウ!”」 (講義) 9:00~10:00 講師: 日鷹一雅さん(愛媛大学大学院農学研究科) 内容: 在来種を絶滅に追いやっている外来生物の問題と駆除について学びます。 第9講座「池干しによる外来種駆除」 (実習) 10:00~14:00 講師: 三塚牧夫さん(ナマズの学校) 内容: ため池の水を落として外来種(オオクチバス、ブルーギル、ウシガエルなど)の駆除方法を学びます。	
第5回 10月28日(土) 場所: (農)くろがわ上谷(世羅町黒川)、せらワイナリー足湯館	
第10講座「野良仕事がつくる“田の草サイコウ”の風景」 (現地研修) 9:00~10:00 講師: 重津義登さん(農事組合法人くろがわ上谷) 内容: 毎年の草刈が生み出した秋の七草が咲く、ため池の畦畔刈りなどについて学びます。 第11講座「“田の虫サイコウ!”のための“田の草サイコウ!”」 (講義) 10:30~12:00 講師: 松沢政満さん(福津農園、豊橋有機農業の会、日本有機農業研究会幹事) 嶺田拓也さん(農研機構農業工学研究所) 内容: 生物多様性と農業生産を両立させる雑草の管理と活用法などについて学びます。	
最終講座「私の“田の虫サイコウ!”」 (ワークショップ) 13:00~16:00 ファシリテーター(進行役): 延安 勇(株アグリパーク) アドバイザー: 日鷹一雅さん(愛媛大学大学院農学研究科) 内容: ①グループワーク 講座のふりかえり(学んだこと、感想をグループごとにまとめて発表します。 ②個人 参加者それぞれに“ゆめ農業ビジョン”を作成し発表します。	